

Save ALL, Share LOVE みんなを助けよう！愛を分かち合おう！

AED



前文部科学大臣に提言

「小学校からの救命教育」学習指導要領に盛り込んで

AED



2024年現在、中学校と高等学校の学習指導要領には「AEDなどを用いた心肺蘇生法」が必修項目とされていますが、**小学校ではいまだ必修化されていません**。しかし、心臓突然死は「いつでも、どこでも、だれにでも」起こり得ます。そして、助かるはずの命を救えるのは、そばにいる人だけです。

2011年9月、さいたま市立小学校に通っていた桐田明日香さん（当時11歳）は、練習中に突然倒れてしまいました。ところが、学校にあるAEDは使われず、翌日に息を引き取られました。このような痛ましい出来事が今後起こらないよう、AEDの普及啓発に取り組む日本AED財団は関連する学会や組織と共同し、AED講習を小学校の学習指導要領に盛り込むことを求める要望書を前文部科学大臣へ省に直接提出しました。



日本AED財団 HPより
小学校からの救命教育の普及
並びに学校における心臓突然死ゼロを
目指した危機管理体制整備の提言

AEDはほとんどの学校に設置されていますが、**AEDの使用法の講習を実施している小学校の割合は3割にとどまっています**（文部科学省調べ）。学校では、スポーツや給食中などに心停止が起っています。だれもがAEDを使用できるようになることが理想です。助かるはずの命が1人でも多く救えるように、小学生に対するAED講習の必修化が進むことが強く望まれます。

使い方はどれもほとんど同じ
AEDが全てアナウンスしてくれる



PUSH コースでの一次救命処置講習で
AEDの使い方のポイントが分かるよ！



「たたかう！救急アニメ 救え！ボジョレー！！」Ver.5.0



学校の先生に**一 次 救 命** インタビュー してみました



学校で一次救命処置に関する授業はどうしてる？ PUSH コースの講習会はできる？
今回は中学校での様子を聞いてみました！

さかいいつ いづみがおかひがし

堺市立 泉ヶ丘東中学校



奥野 晃平 (おくの こうへい) 先生
2 年男子体育ご担当

生徒への一次救命処置講習の実施方法は？

中学校 2 年生の 2 学期に、体育の授業の中で保健体育の教科書に沿って行います。最初は教科の内容に関する座学での講義を行い、傷病者を発見してから AED を使用するまでを実践します。その後 15 分程度の中で、実践編として「あっぱくん® ライト」を使用して胸骨圧迫のトレーニングを行います。この時、圧迫の速さと強さ（音が鳴ること）が重要であること、体力的にしんどいことを実感させることに重点を置いて指導しています。さらに、疲れた時には交代して続けることも実践してもらっています。胸骨圧迫のリズム音源は、インターネット上にあるリズムの動画を使用しました。AED は学校が所有するデモ機に触れてもらっています。

一次救命処置講習や啓発に関する今後の課題

現状の構成でもうまく行えていると思いますが、本当であれば傷病者の発見から AED の使用までの一連の流れを全て実践形式で行えれば良いと思っています。授業時間の 50 分の中では、通常のカリキュラムとの兼ね合いで実施するのが困難でしたので、せめて胸骨圧迫の部分は実践的に学んでほしいとの思いから、「あっぱくん® ライト」を使って実技を取り入れています。

PUSH コースでの救命講習について

教職員向けの一次救命処置講習として PUSH コースを受講しました。体育の担当をしていることもあり、実際に起こる場面に遭遇する可能性は高いと思いますので、一年に一度くらいの頻度で定期的に PUSH コースを受講できればと良いと感じました。授業では、カリキュラム上教科書の内容に関する座学を行うのが必須のため、体育の授業中に PUSH コースでの一次救命処置講習を行うのは困難な状況です。学活総合など、授業外の活動の中で行うことはできると思います。



カリキュラムが決まっている中で、体育の授業中に PUSH コースの講習会を行うのは難しい場合もありそう。あっぱくん® ライトのみの使用でも学習効果は高いけど、課外活動時間などを使うことで、学校での PUSH コースによる一次救命処置講習がもっと広がるといいですね！

学校 PUSH に関する詳細はこちらから



PUSH コースでの一次救命処置講習 ここが素晴らしい！

あっぱくん® ライトで一度に大人数の講習会ができる

PUSH コースの一次救命講習は 50 分で実施可能

一年後の胸骨圧迫や AED のスキルは、3 時間の講習会よりも維持できる



心肺蘇生トレーニングツール
あっぱくん® ライト®
株式会社アレクソン

Nishiyama C et al., Acad Emerg Med. 2014

特定非営利活動法人

大阪ライフサポート協会

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5 ス튜디오新大阪416号室

<https://osakalifesupport.or.jp/>